

---

## 安全データシート (SDS)

---

### 1、製品及び会社情報

製品名 : オフゼット  
整理番号 : HJK5150  
会社名 : 株式会社本荘興産  
住所 : 岡山県倉敷市児島塩生 2764  
電話番号 : 086-475-0950 / F A X 番号 086-475-0952  
改訂 : 2016年4月1日  
製品説明 : 自動車塗装表面用脱脂剤 (業務用)

---

### 2、危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

##### [健康に対する有害性]

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性または皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分外
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性/全身毒性 (単回暴露)	区分1
特定標的臓器毒性/全身毒性 (反復暴露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	区分1
水性環境有害性	区分2

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類できない」は項目を省いた。

#### 【GHSラベル要素】

##### [GHS絵表示]



##### [注意喚起語]

危険

##### [危険有害性情報]

重篤な皮膚の薬傷・重篤な眼の損傷、吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ、遺伝性疾患の恐れ、疑い、生殖能または胎児への悪影響の疑い、末梢神経系、肝臓、呼吸器系の障害、長期にわたるまたは反復暴露により神経系、精巣、消化

---

---

管、肝臓、腎臓、呼吸器系の障害、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ、

水生生物に毒性

<使用上の注意>吸入、飲用不可

**【安全対策】**

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意、説明書きを読み、理解してから使用する。

製品を使用するときに飲食・喫煙をしない。

取り扱い後は、手、顔等をよく洗う。

用途以外には使用しない。

粉塵/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

保護眼鏡、保護面、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

屋外または換気の良い場所で取扱する。換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を使用する。

容器を密閉しておくこと。

環境への放出を避ける。

**【救急処置】**

目に入った場合

直ちに多量の流水で数分間洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗う。直ちに医師の処置、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口の中を漱ぎ、うがいをする。無理に吐かせず直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合、

直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。なんらかの異常を感じた場合は、直ちに医師の処置を受ける。

誤って顔・皮膚に付着した場合

直ちに多量の流水で洗う。衣類や靴などに付いた時は、速やかに脱ぎ、皮膚を流水でよく洗い流し、直ちに医師の処置を受ける。

汚染した衣類を再利用する場合は、洗濯すること。

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当てを受ける。

気分が悪いときは医師の診断/手当てを受ける。

**【保管】**

子供の手の届かないところに施錠して保管する。

容器を密閉し直射日光を避け、涼しく換気の良いところに保管する。

**【廃棄】**

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って処理する。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

### 3、組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有率	P R T R法	労働安全衛生法	C A S No.
2-アミノエタノール	2.5 (%)	第1種指定化学物質 No.20	通知物質 21	141-43-5
ポリオキシエチレン・デシル硫酸エステルナトリウム	1 (%)	第1種指定化学物質 No.409	---	9004-82-4
エチレングリコールモノラルブチルエーテル	4-10 (%)	---	通知物質 79	111-76-2
水酸化カルウム	0-2 (%)	---	通知物質 316	1310-58-3

その他 アニオン系界面活性剤、ノニオン系界面活性剤、キレート剤

### 4、応急措置

- 吸入した場合  
ミストを吸い込んだ時は、直ちに新鮮な空気の風通しの良い場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。なんらかの異常を感じた場合は直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合  
直ちに流水で15分以上洗い流す。衣類や靴などに付いた時は、速やかに脱ぎ、皮膚を流水でよく洗い流す。なんらかの異常を感じた場合は直ちに医師の処置を受ける。汚染した衣類を再利用する場合は、洗濯すること。
- 目に入った場合  
直ちに多量の流水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合  
直ちに口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。但し、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

いずれの場合も、医師への受診時には製品またはSDSを持参する。

### 5、火災時の措置

- 消火剤  
粉末消火薬剤、水溶性液体用消火薬剤、霧状水、二酸化炭素、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤  
棒状水
- 火災時の特定危害有害性  
燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特定の消火方法  
火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行なう。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備等に散水して冷却する。消火の為の放水等により、製品もしくは化学物

---

質が河川や下水に流出しないように適切な処置を行なう。

- 消火を行う者の保護  
消火作業では、適切な保護具（手袋、マスク、メガネ等）を着用する。燃焼ガスには一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

---

## 6、漏出時の措置

- 人体に対する注意事項  
作業には必ず保護具（手袋、マスク、メガネ等）を着用する。  
多量の場合は人を安全な場所に退避させる。  
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項  
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 除去方法  
少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから、ドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに、消火剤を準備する。  
床面に漏れた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となるため注意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。  
火花を発生しない安全な道具を使用する。

---

## 7、取扱い及び保管上の注意

- 技術的対策  
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項  
火気厳禁。眼および皮膚への接触を避ける。
- 安全取り扱い注意事項  
作業場の換気を十分に行なう。  
保護メガネ、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 適切な保管条件  
火気厳禁。通気の良い場所で容器を密閉して保管する。
- 安全な包装容器材料  
製品使用容器に準ずる。

---

## 8、暴露防止及び保護措置

- 設備対策  
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
  - 管理濃度  
未設定
  - 許容濃度  
日本産業衛生学会 未設定
-

---

ACGIH 未設定

- 保護具  
呼吸器用の保護具：通常の作業の場合は特に必要なし  
手の保護具：不浸透性保護手袋  
眼の保護具：ゴーグル型または全面保護メガネ  
皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣
- 

## 9、物理的及び化学的性質

- 物理的形狀  
形状：液体  
臭い：原料臭  
pH：強アルカリ性
  - 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲  
沸点：データなし  
流動点：データなし  
引火点：データなし  
発火点：データなし
  - 爆発特性  
爆発限界：データなし
  - 溶媒に対する溶解性  
水：可溶  
アルコール：可溶
  - その他  
密度（比重）：1.03  
粘度：データなし  
不揮発分：データなし
- 

## 10、安定性及び反応性

- 安定性：通常の使用条件下では安定である。
  - 反応性：通常の使用条件下では危険な反応を生じるおそれはない。
  - 避けるべき条件：情報なし。
  - 避けるべき材料：情報なし。
  - 危険有害な分解生成物：情報なし。
  - その他：特に知見なし。
- 

## 11、有害性情報

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	重篤な眼の損傷 区分1
呼吸器感作性または皮膚感作性	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ 区分1
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患おそれ 区分2

---

発がん性	区分外
生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のうたがい 区分 2
特定標的臓器毒性/全身毒性（単回暴露）末梢神経系、肝臓、呼吸器系の障害	区分 1
特定標的臓器毒性/全身毒性（反復暴露）長期にわたるまたは反復暴露により神経系、精巣、消化管、肝臓、腎臓、	区分 1
吸引性呼吸器有害性	呼吸器系の障害 区分 1
水性環境有害性	水生生物に毒性 区分 2

## 12、環境影響情報

急性毒性	: エレンゲリコルモノルマルブチルエーテル甲殻類(グラスシュリンプ) LC <sub>50</sub> 5.4mg/L/96
残留性/分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
生体毒性	: データなし。

## 13、廃棄上の注意

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って処理する。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

## 14、輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送は ICAO/IATA および海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類	: 国連の分類基準には該当しない。
国連番号	: 国連の分類基準には該当しない。
国内規制	: 陸上輸送 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海洋汚染物質	: 非該当
安全対策	: 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめた上で、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

## 15、適用法令

化審法	: 特定化学物質・指定化学物質に該当しない
労働安全衛生法	: 特化則 該当しない。 有機則 第 2 種有機溶剤（エレンゲリコルモノルマルブチルエーテル） 通知対象物質 該当する。 指針・通達物質 該当しない。
化学物質管理促進法（PRTTR法）	: 該当する。
消防法	: 該当しない。
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: 該当しない。
水質汚濁防止法/水素イオン濃度	: 該当しない。
食品衛生法	: 該当しない。

---

## 16、その他の情報

### 引用文献

- 製品安全データシートの作成指針（改訂版）〔社〕日本化学工業協会（平成13年10月）
- 事業者向け GHS 分類ガイダンス 〔経済産業省〕
- J I S Z 7253 : 2012/化学物質等安全データシート（SDS）
- 14705 の化学商品〔化学工業日報社〕
- 化学品安全管理データブック〔化学工業日報社〕

ここに記載された内容は、現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学薬品には未知の危険・有害性があり得る為、ご使用の際には、商品表示ラベル記載内容及び、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。

---